

# 1984年9月における伊豆大島の ドライティルトについて\*

地質調査所

1984年8月末から9月にかけて伊豆半島の東方海域で群発地震の活動が活発になった。また、伊豆大島のごく近傍においても地震活動があった。

このため、地質調査所では1982年から毎年2月初旬に実施しているドライティルト観測を9月中旬に実施した。

1984年2月と今回の間の各観測網での結果を第1図に示す。尚、参考のために1983年2月—1984年2月の間の変動を第2図に示す。1982年2月—1983年2月の間の変動も第2図と大差ない。また、1982年2月以降今回までの傾動ベクトルを第3図に示す。

A及びB観測網における1984年2月から今回までの間の変動は1982年2月から1984年2月までの間の変動と逆転したセンス、量を示す。C観測網についても量こそ小さいがセンスとしては逆転している。また、1984年2月から今回までの間の変動量は、群発地震の活動域に近い西部（A観測網）ほど大きく、東部（C観測網）では小さい。

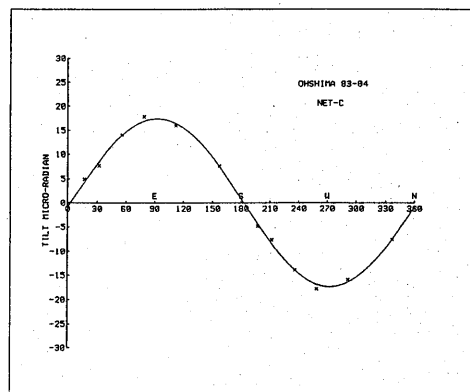
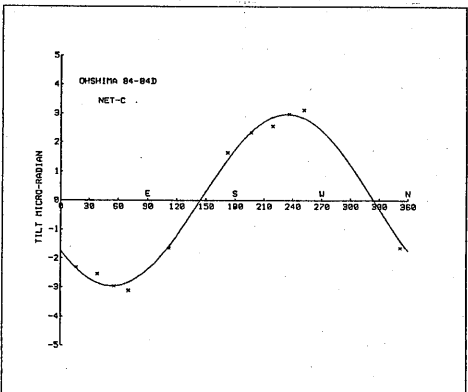
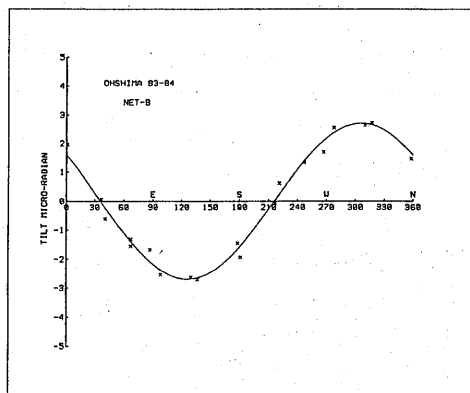
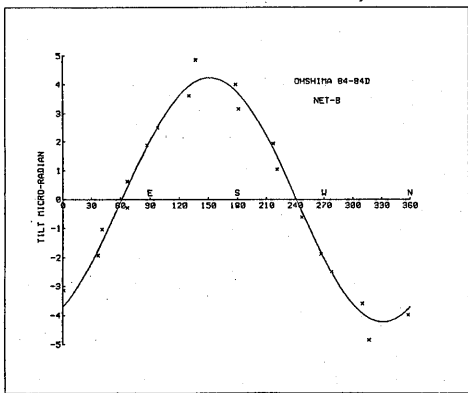
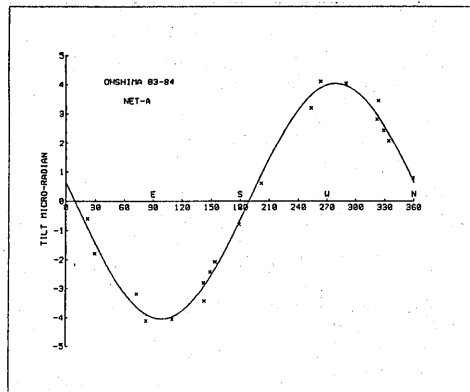
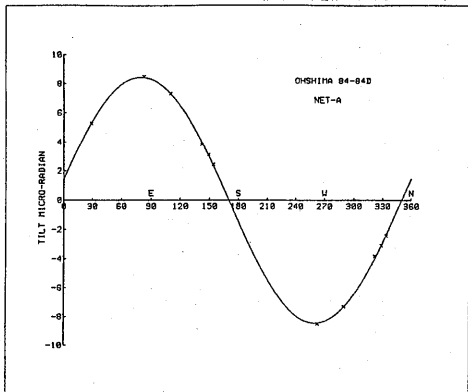
以上の結果が今回の群発地震の活動及び伊豆大島火山の活動と関係があるのか、年周変動等他の原因によるものかは今後の観測によって明らかになる事が期待される。

なお、本観測手法については衣笠(1984)<sup>1)</sup>を参照していただきたい。

(衣笠善博)

## 参 考 文 献

- 1) 衣笠善博(1984): 地殻変動観測のためのドライティルト法, 地質ニュース, No.364, p.32-42.

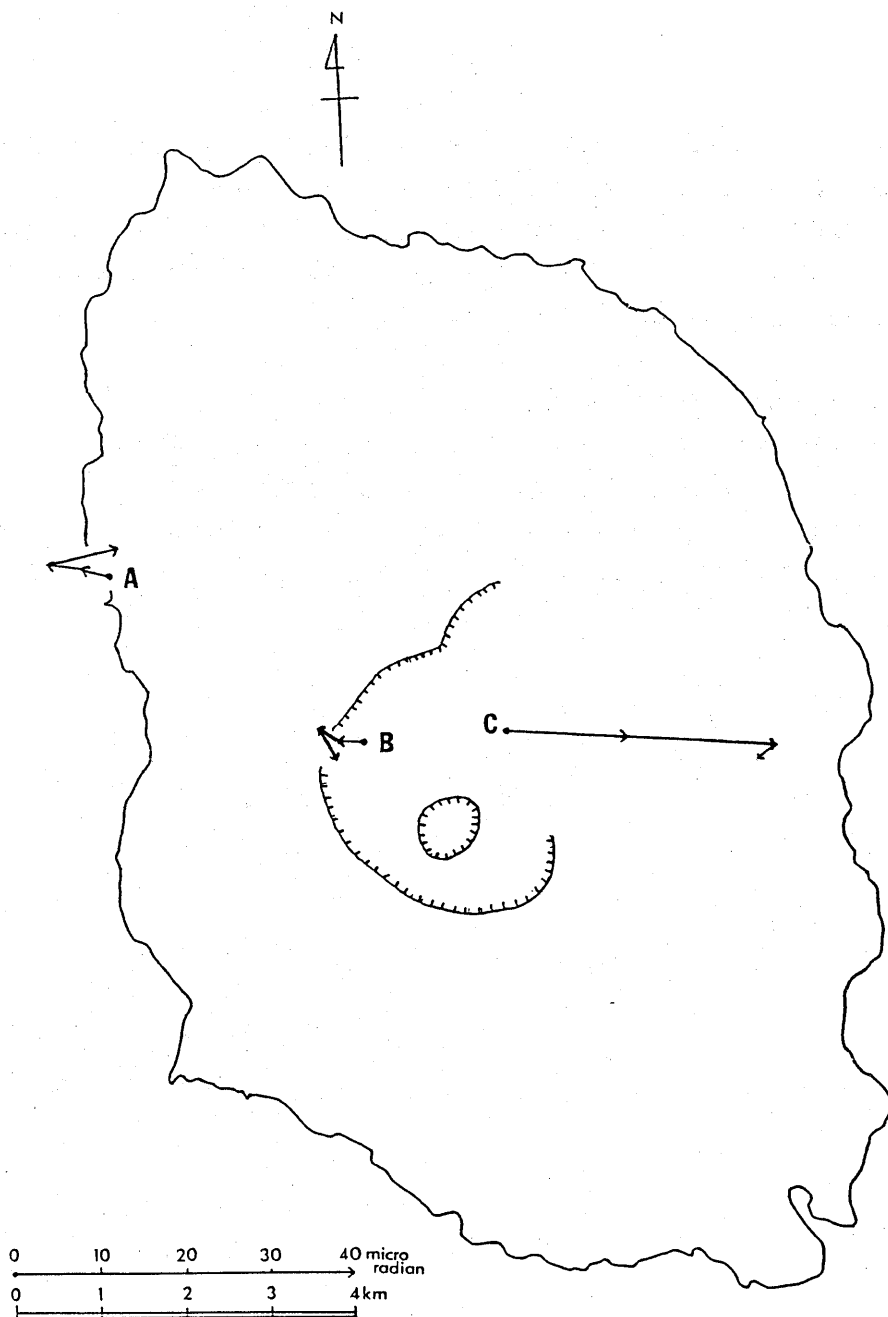


第 1 図 1984年2月-1984年9月の間の傾斜変動

Fig.1 Tilt between February 1984 and September 1984.

第 2 図 1983年2月-1984年2月の間の傾斜変動

Fig.2 Tilt between February 1983 and February 1984.



第 3 図 1982年2月から1984年9月の間の傾斜ベクトル図

Fig. 3 Tilt vectors of three survey nets between February 1982 and September 1984.